

Title	ぷらっとシネマ 家族の一員、のようなもの『メイド』（S・シルヴァ監督）
Author(s)	萩原, 弘子
Editor(s)	
Citation	働く女性の情報誌 いこ る. 2010, 25 (2010 秋号). p.17
Issue Date	2010
URL	http://hdl.handle.net/10466/15475
Rights	



家族の一員、のようなもの 『メイド』（S・シルヴァ監督）

ヴァルデス家に勤めて23年、住み込みメイドのラクウェルは人生の半分をこの家で過ごしてきた。4人の子どもがいる一家のために、掃除、洗濯、炊事を一手に引き受けている。朝は、子どもたちを起こし、夫婦の寝室に朝食を運ぶ。家族が出かけたあとは、ベッドメイキング、大量の洗濯、家中の掃除、夕食づくり。夜は、キッチンの片づけ、朝食の用意と、仕事は果てしない。

体調が思わしくなく、頭痛薬が手放せないラクウェルを気遣って、ヴァルデス夫人はメイドをもうひとり雇う。負担を減らしてあげようという夫人の配慮だが、ラクウェルは嬉しくない。隅々まで知るこの家で、自分以外にメイドはいらない。新人メイドに対するラクウェルの徹底したいびりが始まる。誰も長くは続かない。観客としても、根性の悪いメイドの話かとうんざりしかけるころ、ラクウェルが病気で倒れ、そこから物語は思わぬ方向へと展開していく。

地味な作品なので日本での公開は期待できないが、ラテン・アメリカ社会の年季の入った階級格差をよく捉えた佳作である。実は私は長年のあいだ、メイドの登場する映画に強い関心をもっており、いつかそんな本も書いてみたいと夢想している。メイドを中心に据えた作品はもちろんのこと、台詞もないメイドが主人公の後ろを通りすぎるだけの場面でもあれば、必ず観ることにしている。メイドが女性で、下層階級で、黒人だったり外国人だったりすること、つまり映画の中心的物語を託された主人公にとって「他者」であることで、中心の物語をふくらませ、時代や社会の現実感を出すことができる。メイドを配することで表現できる山ほどのことがある。むろん、たいていの場合は、その表現したいがメイド（役）の搾取になっている。

本作のシルヴァ監督は、ずばりメイドを中心に据えて、やさしく繊細な観察眼で日常における階級支配の細部とメイド職の悲哀を描きだしている。

主人夫妻は横柄なところのない気さくな人たちが、ラクウェルを「まるで家族の一員のような」存在だと言ってくれる。それでもやはり、ラクウェルが越えてはならない一線がある。稀にその越境を確認したとき、たとえば、夫人のよく行くハイストリートの高級店でラクウェルも買い物をし

ていると知ったとき、夫人は一瞬だが心外な表情を見せる。

人が食って寝る生活の世話を日々担当するメイドは、汚れ物やゴミのなかから一家の秘密を知ることがある。主人も知らない、メイドだけが知っている秘密。メイドに許された小さな優越感だ。長男のおませな秘密をラクウェルが察知したのは、おむつの時代から思春期の現在まで、彼のベッドをつくり、衣類を洗濯してきたからこそである。

しかしどんなによく知っていても、そこは他人の家であり、メイドは雇われた使用人である。主人との階級差が、縮まったり曖昧になったりすることはない。夫人の母親がメイド同士の諍いを知って、愚かしいとばかりに苦笑する態度には、数世代にわたって使用人を使ってきた尊大な「主人気質」が滲みでている。主人一家の階級が、確実に再生産されていることを監督は忘れていない。子どもたちは、プールがあり、庭師が手入れした結構な庭があり、洗濯も炊事も掃除もメイドがする家で、朝はメイドが起こしにくる生活、そんな至れり尽くせりの溢れるような豊かさのなかで育つ。食べた食器も、寝乱れたベッドも、汚れた下着もメイドという他人がきれいにしてくれる生活が、次の主人階級を形成していく。

ラクウェルの心は、羨望と対抗心、親近感と孤独のあいだを往来している。23年の奉公で自分が手にした小さな既得権を、新人メイドに取られてはかなわない。新人の洗ったものを洗いなおし、口をきかず、ミスを誘導し、結局辞めていくように仕向ける。越えられない階級差のなかでの長年の使用人生活が、人間を小さく姑息にすることもあるという、正直な観察を、批判できないこととして監督はやさしく描く。

3人目の新人メイド、ルーシーは、ラクウェルの固い心を開き、光を照らしてくれる重要な人物である。メイドにだって自分の世界があつてよいという当然のことをラクウェルに教えてくれる。その詳細は書かないことにするが、メイド職の情けなさや悔しさを知っているルーシーの描写が秀逸で、本作に深みを与えている。ハリウッド映画と違って、大団円もハッピーエンドも訪れないが、最後にはちょっとだけ解放されたラクウェルがいる。（チリ・メキシコ、2009年、100分）